特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業令和6年度鎌倉市研究成果報告





研究概要



研究概要

- 児童生徒が自らの学びの特性を知るためのアセスメントや、自分らしい 学び方を試すことができる探究プログラム(かまくらULTLAプログラム)の実施を通じ、学校内外における個別最適な学びの在り方(特に、学習の個性化に関すること)について研究する。
- また、地域の方々や教職員等を対象とした、探究プログラムの理念やノウハウに関するワークショップ研修を開発し、地域社会全体で児童生徒が特性を発揮しながら学べる場づくりを進める。





すべての子どもたちがユニークな学びを 花開かせていく世界

- 森、お寺、海などの鎌倉の地域特性を生かしたプログラムの中で、参加 者一人ひとりが個性や特性に応じて自分らしく学んでいく方法を見つ けていくことを目的とした探究プログラム。
- 小学校4年生から中学校3年生で、学校における学習になじめず、不登校あるいは休みがちとなっているなど、学校に通うのがつらいと感じている児童生徒が参加対象。
- ・ 毎年「海のプログラム」と「森のプログラム」を3日間ずつ実施。

鎌倉市の不登校の状況

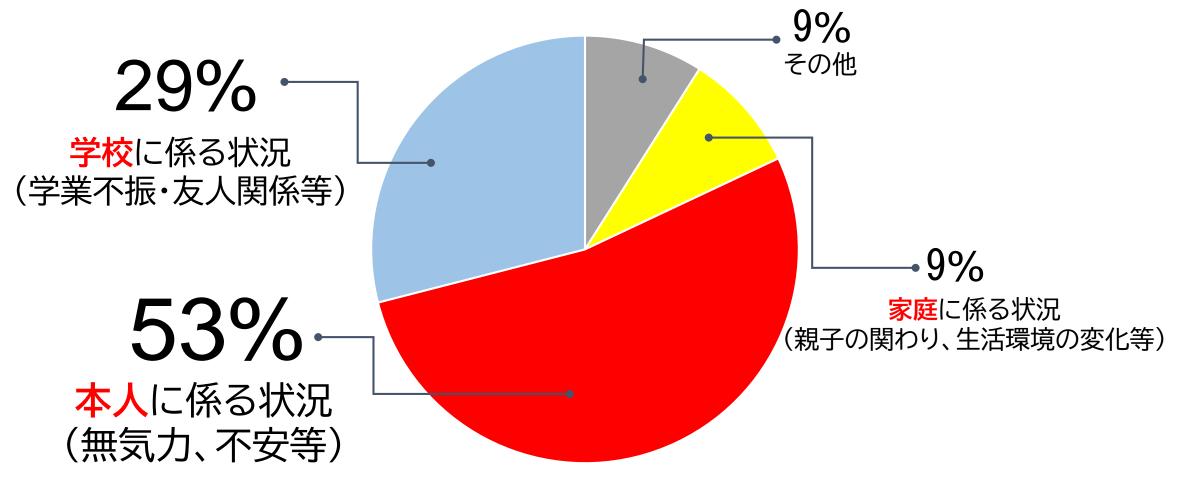
- 鎌倉市でも全国と同様に不登校児童生徒数は**増加傾向**にあります。
- 平成25年(2013年)度に104名だった小中学生の不登校児童生徒数は、 令和5年(2024年)度には382名と約3.7倍に増加しました。



鎌倉市の不登校の状況

不登校児童生徒数は増加

学校に通うのがつらい子どもの本質的原因に迫れているか



児童生徒の問題行動等調査(令和4年度)、鎌倉市

ULTLAの課題意識

学習特性と学校特有の環境が合わないことが不登校の一因











対応

登校意欲

一人一人ユニークな 個性・特性・学び方

関心領域:言語、数、音楽、社会・・・

入力特性: 聴覚優位、視覚優位、触覚優位・・・

出力特性:話す、書く、描く、身体表現・・・

学習特性:一方通行、双方向、個人、集団・・・

学校特有の環境・ 価値観・学び方 (一斉授業・集団との関わり等) 対応できない



学校が辛い

学校になじめない子どもの個性や特性を科学的に 把握して、自分にあった学び方でその個性・特性 を最大限発揮できるように

どもたちの真の自立につながるのではないか を最大限発揮できるよう促すことで、そうした子

かまくらULTLAプログラム

Uniqueness Liberation Through Learning optimization and Assessment

学びの最適化と評価による個性の解放

プログラムの構成

「自分の個性・特性」を知るためのアセスメント

「自分らしく学ぶ」を試す探究プログラム





得意分野、思考スタイル、認知特性、関心領域の 4分野における特性を把握するため、学術的な 根拠に基づくアセスメントを実施



子どもが自分のユニークな学びの特性に気づくきっかけをつくる



3 セクション中 1 個目のセクション

自分を知るための「spaceQ」

× :

プログラムへの応募、ありがとうございます。私たちと一緒に、自分がイキイキと生きられる場所、人、ものごとが何かを見つけていきましょう。プログラムを通じて、自分の学び方のクセや自分らしさってどんなことなのか感じとってみてくださいね。

まずはあなた自身の「学びのクセ」について知るための質問に答えてください。プログラムを受ける前と後で比べてみて、自分の中での変化を見つめてみましょう。

こちらの質問は6つの大質問からなっています。 自分に当てはまっているかどうか想像しながら、答えてくださいね。 それでは、はじめましょう!

spaceQ

自分の学び方のクセについて知るための質問です。自分に当てはまっているかどうか考えな がら答えてね。

5つの大質問からなっているよ。それでは始めてみてね!

*必須

①興味や関心があることについて

今からいろいろな場面を想像してね。その場面の中で自分に当てはまるところにチェックを入れてね。全部で40問あるよ。

ことばについて*



- 見たものや体験したことを、思い出して文章を表すことが得意
- □ ことばのパズル(クロスワードなど)を解くのが得意
- □ 調べたことや考えたことを、文章でまとめるのが好き
- □ 人の意見を参考にして、自分の意見をことばでまとめるのが得意
- 新聞や文字の多い雑誌を読むのが

③好奇心の方向について

次の中で自分のことに当てまはるものを選んでね

この中から一つ自分に当てはまるものを選んでね。*

- 新しいアイディアをあれこれ考える
- 新しいことに挑戦することは好きだ
- ある考えを理解するために必要な知識を全て学ばないと満足できない
- 答えを理解できないと気持ちが落ち着かず、なんとか理解しなければと思う

④考え方の好みについて

次の中で自分のことに当てまはるものを選んでね

この中から一つ自分に当てはまるものを選んでね。*

- 自分なりのやり方を試せることは好きだ
- 指示に従って行動することは楽しい
- ものごとを比べたり、分析することが楽しい

870

PER

何かを生み出したり、健康を解決するためにほう力 を示しています。自分の中にどんな力が思っている のかを知って自分の強みを生かしていきましょう。



spaceQ のボートフォリオでは、自分の好きなものや 荷敷なやり方の傾向を知ることができます。 これを参考に することで、自分らしい学び方を追究していきましょう。

自然用象を理解し、 分類する力 自分の考えや 感情を誘駆するカッ

4905 (538)

形に表す力

無角を 金属的に使う力

開催・設学 数学の活動などを 理解し、使う力

SHA. 心を理解し、 方人関係を結ぶ力 호비

(MAX) 音の軟化を 理解し、使う力

体の動きを調整し、

表現をする力

Science 科学に関すること

Technology

Engineering

Arts

Math

技術に関すること

物づくりに関すること

STEAM 領域

STEAMの中のどの分類に呼ばが 向きやすいかを示しています。 例其の遺滅に高橋を 向けてみましょう。

社会科学や芸術に関すること 質数や数学に関すること

思考スタイル

他事を基めていく時の回 の使い方を示しています。 皇分の間のクセを知って、 特徴を生かしたやり方を 工夫してみましょう。



立來面 **利力や利用などを** 明大丁把架下车



第字型 音句のたことを



報問

報母

きらんとやり振く



. 经任则 人や哲事を判断 したり、研鑽する

-ATMITUT



→ 無法型 一度以一つめこと

に集中し、力を注ぐ

技術でやる



決めずにやる → ほ思想 TOHER DAR



○ 美別型

新しいのり方で

物事に効果する

すでに含まった

やり方でする



Q SEESTIVE



部分に注意が向く

認知特性の優位性

(Att

(3/3) イラストやアニメーション、 動門など



ラジオなど言葉で聞く



体图觉 実際に活動など件を 動かして関してみる



情報をキャッチする3つのセンサーの 夢見の違いは人によります。自分の センサーの特徴を整理してみましょう。

出力



プレゼンテーションや 会話などで伝える



文章や折などで伝える



描く 務や図などで伝える



C3 #6 能んだ本の言葉などを 使用に使って伝える

考えが出いを伝える4つの方法の使い やすかは人によります。自分の併意な 方法を献して、厳いていきましょう。

好奇心スタイル

心のエネルギー



心のエネルギーはやる気に影響します。 自分の状態を知って、誰むのか休むの かを決めていきましょう。

ときめきスタイル

好奇のスタイルには特定の分野を深く

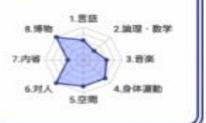
収束~抽股

握り下げるタイプと、核々な領域に広げる タイプの2種類があります。



器 8つのカ

♣ STEAM領域 40 70 80 90









8つの力のうち、自然の原理を考えたり、人と話しながらコミュニケ 一ションを取るのが物に得意です。また体を動かしたり、空間や立体 の形を理解することも向いています。テクノロジーや、ものづくりや 芸術にも興味があるので、パソコンの作業や創作活動を進めていける とよさそうです。考え方のスタイルは、考え方のスタイルは何かを拝 係することが得意で、一つのことに集中して考えると考えがまとまっ ていくでしょう。細かなことにも気が付きやすいので、そこも強みに していけそうです。一人で作業をしていくことが向いているので、マ イベースに進めていきましょう。体を動かしながら学んだり、情報を 受け取ることが得意で、そこから得た情報をだれかに話すことで想い を伝えていくことができます。色々な興味があることに自分のベース



870 何かを生み出したり、健康を解決するためにほう力 を示しています。自分の中にどんな力が思っている のかを知って自分の強みを生かしていきましょう。



spaceQ のボートフォリオでは、自分の好きなものや 荷敷なやり方の傾向を知ることができます。 これを参考に することで、自分らしい学び方を追究していきましょう。



空刊







STEAM 領域

STEAMの中のどの分類に呼ばが 向きやすいかを示しています。 例其の遺滅に高橋を 向けてみましょう。



Engineering 物づくりに関すること

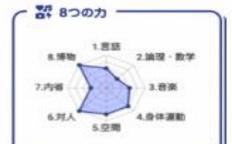
Math

Technology

技術に関すること

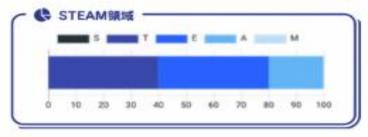
Arts 社会科学や芸術に関すること





思考スタイル

spaceQ



認知特性の優位性

入力

1974

視覚

出力

語む

思考スタイル

PER

3LL

心を理解し、

方人関係を結ぶ力

他事を基めていく時の回 の使い方を示しています。 皇分の間のクセを知って、 特徴を生かしたやり方を 工夫してみましょう。

→ ***

一度に一つめこと

全体2.同位在

を優先開心を

決めずにやる

・ 相称や決まっごとに

TOHER DAR

技術でやる

文 新列形

世界型

に集中し、力を注ぐ











人や哲事を判断

-ATMELT

THE HARL

したり、評価する

. 经任则





体图觉 実際に活動など体を

動かして関してみる

情報をキャッチする3つのセンサーの

センサーの特徴を開発してみましょう。

夢見の違いは人によります。自分の

好奇心スタイル

(3)(3) イラストやアニメーション、 動門など



(人力)

感す

会話などで伝える

プレゼンテーションや





出力

文章や折などで伝える



描く



箱や図などで伝える



能んだ本の言葉などを 使用に使って伝える

考えが出いを伝える4つの方法の使い やすかは人によります。自分の併意な 方法を献して、厳いていきましょう。



人や物事を判断した

11 原衛士名







I SPACE



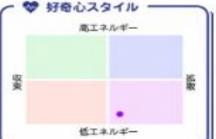
新しいやり方で物事 に別数する

感じる砂は、実際に白分でも対し

てやってみるといいですね。

自分で試してみることで理解が提 まりやすいです。 理解しづらいと

自分の考えやイメージしていることを 話して伝えることが向いています。人 との会話やプレゼンテーションなどで 話しながら相手に伝えていくといいで Tto.





8つの力のうち、自然の原理を考えたり、人と話しながらコミュニケ 一ションを取るのが物に得意です。また体を動かしたり、空間や立体 の形を理解することも向いています。テクノロジーや、ものづくりや 芸術にも興味があるので、パソコンの作業や創作活動を進めていける とよさそうです。考え方のスタイルは、考え方のスタイルは何かを拝 係することが得意で、一つのことに集中して考えると考えがまとまっ ていくでしょう。細かなことにも気が付きやすいので、そこも強みに していけそうです。一人で作業をしていくことが向いているので、マ イベースに進めていきましょう。体を動かしながら学んだり、情報を 受け取ることが得意で、そこから得た情報をだれかに話すことで想い を伝えていくことができます。色々な興味があることに自分のベース

38.25

Q 285全体/6

部分に注意の向く



報母

報問

新しいのり方で



○ 美質型

すでに含まった やリカでする。

心のエネルギー 直エネルギー~近エネルギー

心のエネルギーはやる気に影響します。 自分の状態を知って、誰むのか休むの かを決めていきましょう。

ときめきスタイル **収束~抽股**

好奇のスタイルには特定の分野を深く 握り下げるタイプと、核々な領域に広げる タイプの2種類があります。

● 經報節

8つの力



考え方のスタイル

①得意な役割

③得意な視点 4行動のスタイル

⑤取り組み方の スタンス

機能



立案型

創造や発明などを 考えて提案する



順守型

言われたことを きちんとやり抜く



評価型

人や物事を判断 したり、評価する

形態



単独型

②得意な進め方

一度に一つのことに 集中し、力を注ぐ



同時に複数のことを 優先順位を決めて



並列型

同時に複数のことを 優先順位を決めず にやる



任意型

順序や決まりごとに こだわらずにやる





巨視型

物事を全体から 広くみる



微視型

物事の細かな 部分に注意が向く

範囲



独行型

一人で独立してやる



共同型

集団でお互いに 協力してやる

傾向



▲ 革新型

新しいやり方で 物事に挑戦する



保守型

すでに決まった やり方でする

情報の受け取り方/伝え方



視覚

イラストやアニメーション、 動画など



聴覚

ラジオなど言葉で聞く



体感覚

実際に活動など体を 動かして試してみる



話す

プレゼンテーションや 会話などで伝える



書く

文章や詩などで伝える



描く

絵や図などで伝える



読む

読んだ本の言葉などを 説明に使って伝える どれがいいとか悪いではなく 自分の状態の変化を感じて 合う環境を選べることが大事!





探究プログラム



探究プログラム

自分らしい学び方を様々な形で試せるような 多様性のあるプログラムコンテンツ

鎌倉が持つ豊富な教育資源(人材・自然・歴史)を活用

海のプログラム (2024年9月7日・14日・15日)



森のプログラム(2024年10月12日・26日・27日)



かまくらULTLAホームページ



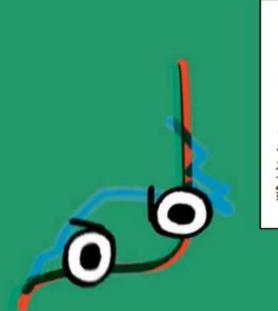
https://kamakura-ultla.com/

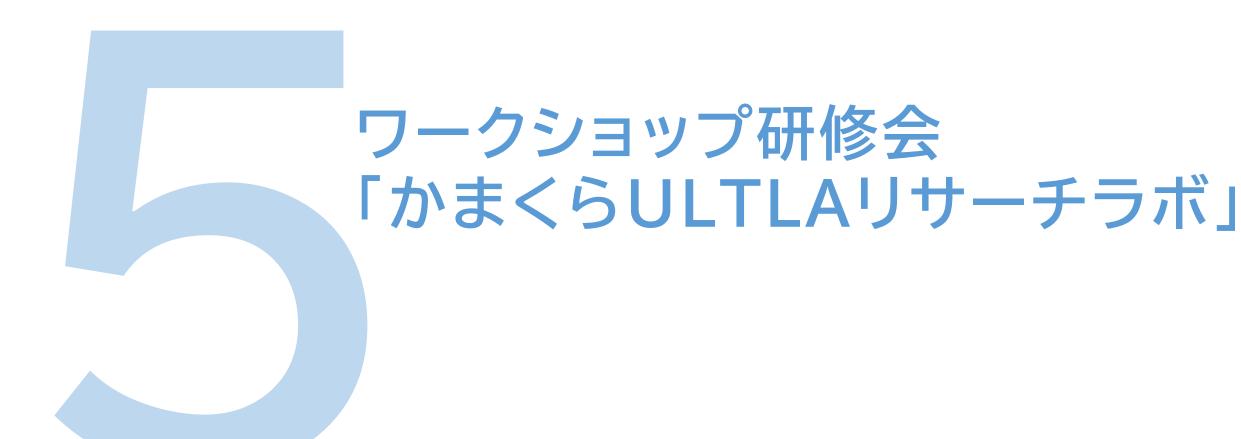




見える世界が変われば いつのまにか変身しているかも きっかけは君の中に!









ワークショップ研修会「かまくらULTLAリサーチラボ」

プログラムのストーリーや探究活 動の構築・運営ノウハウ等に関す るワークショップ型の研修を実施

学校教職員をはじめ鎌倉市に在住 する児童生徒の学びに関わる方々 を対象



2012月26日金

- 鎌倉市小中学校の教護員
- 鎌倉市内で子どもたちの支援に関わっている方 (NPO, フリースクール、関係者等)
- があります。その場合、毎日の様子は後日アーカイブでも

〒248-0011 鎌倉市田州谷1-7-25



プログラム。その根底には子どもたち一人ひとり 鎌倉市の学びを支える大人たちの子どもへの向き 合い方や関わりが「ヘーんしん」していくことを

鎌倉市教育委員会多様な学びの場づくり担当 TEL: D467-61-382X



- (請責当立小中学校の先生は、必ず管理場の了承を書てから
- 中企業を耐える中に込みがあった際には、参加できない場合



ワークセッション | 13:00-16:00 地域の中にすでに存在している宝たち、鎌倉ならではの 人、モノ、場所を生かした学びをどのように展開するのか、 みなさんのアイディアをもとに、実践的に描いていき ます。どんなプログラムになるかは皆さんの視点攻策

0 プログラム 0

リサーチセッション | 10:00-11:30 UILTLAらしいプログラムはどのように設計されている

のでしょうか。そのデザインを組解さり子ともの特性」 「放祥」、「地域のリソース」を交差させ繋げていく視点 をリサーチし、ULTLAの真動をつかんでみましょう。

ランチセッション 11:30-13:00

起こる確実の楽しみを、日常の素材から学びを作る

体験で選択してみましょう。食に詰まった教料の学び

を腕に落としていきましょう。

かまくら ULTLAとは?

Learning out imposition and Assessment 在文記憶による機能の解析に必属です。





③ ワークショップ研修(リサーチラボ)

①リサーチセッション



③ワークセッション







かまくらULTLAプログラムの理論を学ぶ

かまくらULTLAプロ グラムを体験

地域協働によるプログラムづくり

ワークショップ研修会「かまくらULTLAリサーチラボ」





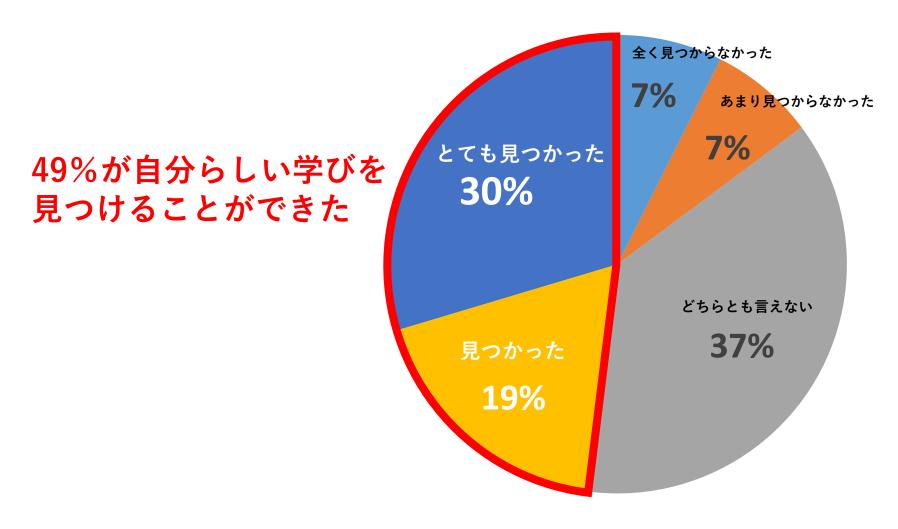


(1) アンケート結果から



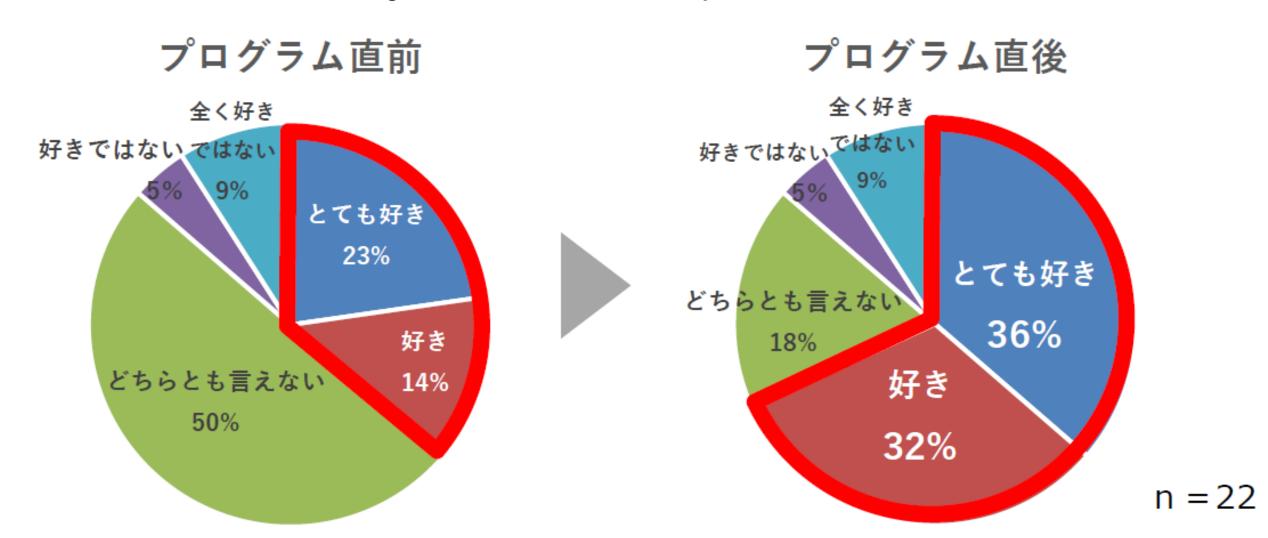
自分らしい学びが見つかった度合いについて

自分らしい学びが見つかりましたか?



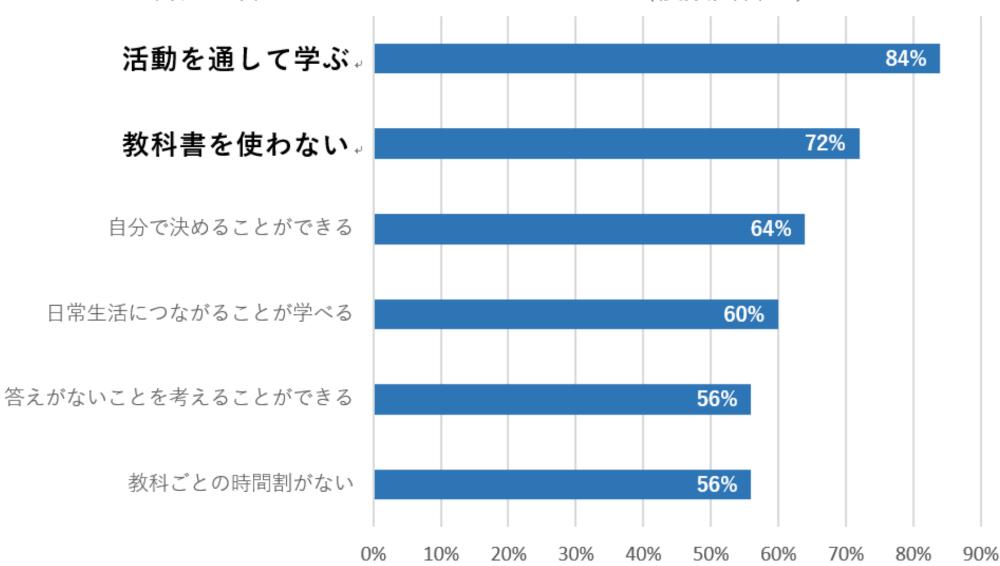
学びへの志向性について

学ぶことが好きですか



自分に合っていると感じた学び方について

自分に合っていると感じた学び方は? (複数回答可)



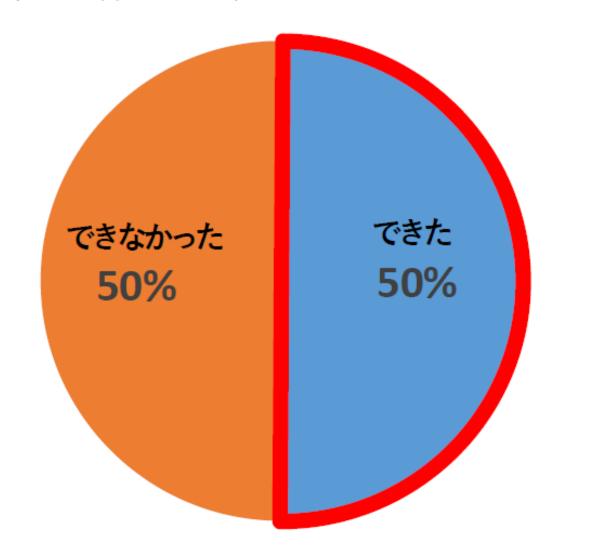
n = 25

(2)アセスメントの活用について



児童生徒のアセスメントの活用について

「学びのポートフォリオ」に書かれていた内容(得意なやり方や心のクセ)を、 プログラム中に意識したり、いかしたりすることができましたか?

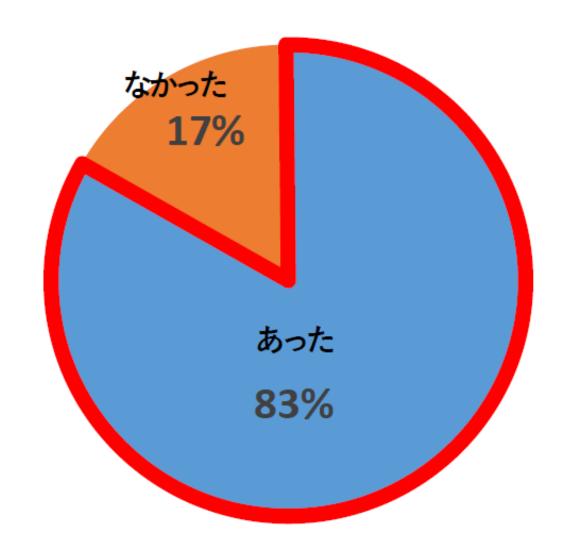


50%がアセスメントを 意識しながら活動できた

n = 10

保護者のアセスメントの活用について

「学びのポートフォリオ」に書かれていた内容(得意なやり方や心のクセ)を、 ご家庭で話題にしたり、参考にしたりすることはありましたか?



n = 12

(3)個別最適な学び(学習の個性化)の在り方



個別最適な学び(学習の個性化)の在り方

学習方法・コンテンツについて

自ら学ぶ対象や学び方を「選択できる」ということが大切

個別最適な学び(学習の個性化)の在り方

学習環境について

「心理的安全性」を感じながら学ぶことができる環境により自分らしく学ぶことができる

(4)地域社会等との連携・理解の醸成



地域社会等との連携・理解の醸成

・ワークショップ研修の実施

・プログラムの企画運営に参加



教育委員会、学校、地域の方間のネットワーク

ULTLAのこれから



(1) ULTLAの学びを学びの多様化学校へ



令和7年4月開校



鎌倉市立由比ガ浜中学校

不登校の子どもたちのための

そして、サポートするたくさんの人たち。 由比が共中学校で過ごす毎日。 それは、自分らしまに出あえる時間です。

自分らしく学び、

自分らしく成長できる学校

由比ガ浜中学校の場所



由比ガ浜中学校の外観イメージ



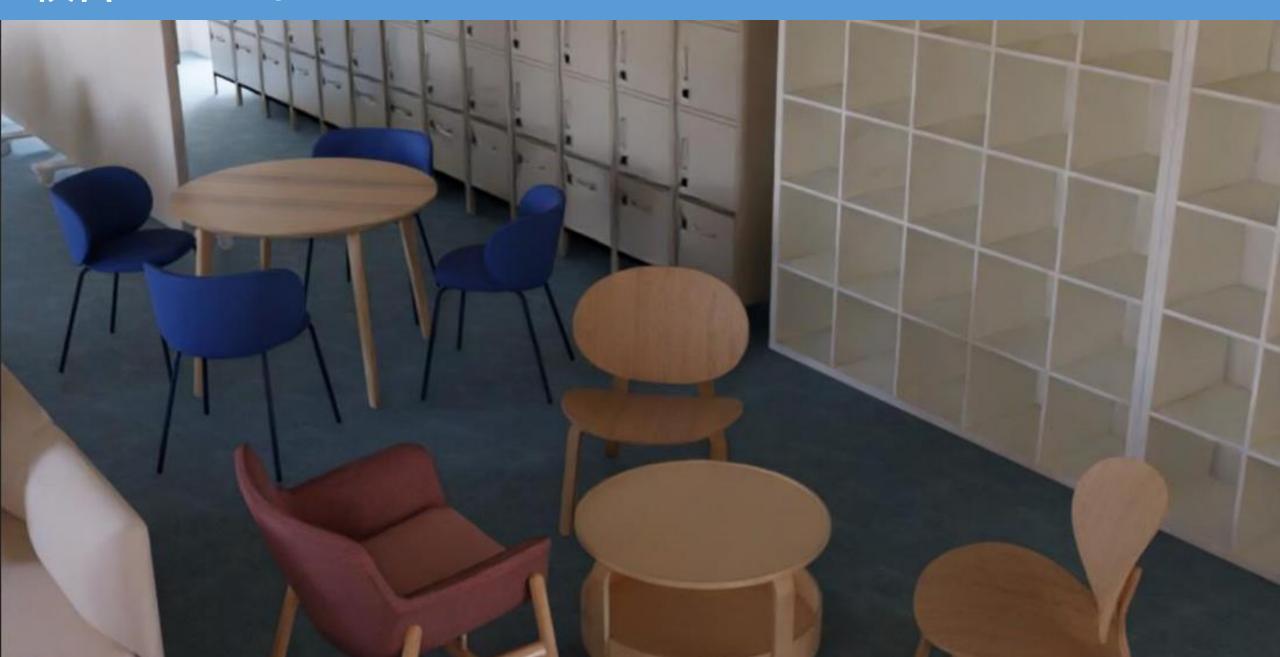
由比ガ浜中学校の外観イメージ



校舎レイアウト



校舎レイアウト



校舎レイアウト



「かまくらULTLAプログラム」の要素を取り入れた新教科「ULTLA」

- 総合的な学習の時間を「かまくらULTLAプログラム」の要素を 取り入れた新教科「ULTLA」として再設定
- 授業時数を140時間に増加
- 興味関心領域や思考スタイル、認知特性等を把握するためのア セスメントの実施と丁寧なフィードバックで、自身を肯定的に 捉えなおす機会をつくる
- 自分の興味関心に基づいて自分に合った方法で探究的に学ぶ

「かまくらULTLAプログラム」の要素を取り入れた新教科「ULTLA」

- 鎌倉の豊富な教育資源(人・自然・文化)を最大限活用し、体験的に学ぶ
- 地域とつながり、多くの大人や仲間と関わりながら学ぶ
- 教科横断的に学ぶことで、授業時数を削減した教科の内容を 補完する



ULTLAと由比ガ浜中学校のつながり



(2) ULTLAの学びを持続可能なかたちへ



ULTLAの学びを持続可能なかたちへ

より多くの子どもたちが参加できるよう海・森 それぞれ2日間のプログラムへと短縮

より地域の人的リソースを活用しながら企画運営

ご清聴ありがとうございました



鎌倉市教育委員会

no+e





